

海外進出ステップアッププログラム「セミナーC実施レポート」

東京都では、東京都内のアニメーション制作・製作関連事業者の皆様への海外展開支援として、「海外進出ステップアッププログラム」事業を展開しています。事業の一環として、海外ビジネスに必須である情報満載のセミナーを開催中です。

第3回目となるセミナーC「海外展開に必要なツールを準備しよう(バイブル作成演習)」の開催レポートをお届けします。

セミナーC「海外展開に必要なツールを準備しよう(バイブル作成演習)」 講演内容ご紹介

- セミナーCでは、アニメーションの海外展開に必要な情報をまとめた企画書(バイブル)の作成ノウハウを演習も交えてご提供しました。受講者は作品コンセプトやキャッチコピーといったバイブルの要素を事前に用意し、当日は講師の説明やアドバイス、模擬商談(演習)を経て、バイブルの各要素への理解を深め、海外の方により的確に伝えるためのプレゼンテーションの組み立て方を学びました。
- 本セミナーで習得したバイブルやピッチ作成のノウハウを活用し、次のステップである「ワークショップ」に向けてピッチ原稿をブラッシュアップする力を身に着けることを目標としました。

【セミナー】株式会社ツクリエプロデューサー・株式会社Culture Connect代表 風早完次氏 「海外展開をするということ」及び「ピッチとピッチバイブルについて」

- 海外展開を考えるにあたっては、何を目標とするか、何を達成するのか、時期はいつが良いか、提案する相手は誰といったことを明確にすべきだという心構えをいただきました。
- 海外展開での目的を達成するために必要な情報をまとめた企画書(バイブル)の作成について、構成要素や、ポイントについて以下のような具体的なアドバイスが盛り込まれた解説がなされました。



- 日本語で考えたタイトルの直訳が海外向けにも最適であるわけではなく、タグライン・ログラインもニュアンスを英語で伝えるためには直訳ではなくしっかりと対訳しなければならない。
- ログラインは作品概要として先方の検討材料になる非常に重要な要素なため、特に意識して作成する必要がある。
- 日本の企画書では省きがちなジャンルやターゲット視聴者等も海外ではしっかりと情報を盛り込まなければならない。
- 作品とキャラクターの関わりを明確にし、キャラクターがシナリオの中でどのように成長するのか、何を成し遂げていくのかを見せていくことも大事である。

セミナーC「海外展開に必要なツールを準備しよう(バイブル作成演習)」 講演内容ご紹介

【セミナー】Aqui Media Founder & CEO Jesus Perezagua氏 「Mr. Jesus Perezaguaのピッチを受けよう」

- 欧州・アフリカのテレビ、デジタルメディア等の業界にてコンテンツビジネスのエキスパートとして活躍し、現在は日本発信のグローバルビジネス事業を展開するJesus Perezagua氏を講師にお迎えし、同氏が日本の伝統文化をモチーフとした作品を海外に売りこむにあたって課題として気づいた点、留意すべきポイントについてのお話をいただきました。
- 続いて講師が実際に活用されている「ピッチ」のデモンストレーションを英語で披露いただきました。受講者にとってはグローバル市場で通用するための「バイブル」や「ピッチ」のイメージを実感できる非常に有意義な機会となりました。



【演習】商談ロールプレイ

アドバイザー: 今泉裕美子氏(株式会社ツクリエ 取締役)・風早完次氏・Jesus Perezagua氏

- 受講者が2人1組となり、自身のバイブルの要素を「ピッチ原稿サンプル」に当てはめて組み立てたピッチを使って商談ロールプレイを行いました。相手と立場を変え3回行う中で、受講者は相手に伝わる商談ピッチの難しさと、相手からの反応や講師のアドバイスによりブラッシュアップしていく過程を体感することが出来ました。



模擬商談に熱心に取り組む受講者の様子

セミナー参加者からの声をお届けします

- ◆ 自分のピッチを向上するためのポイントに気づくことができました。外国の方のピッチがとても勉強になりました。
- ◆ 実際のピッチの仕方、バイブルの準備の重要性が分かりました。
- ◆ 英語でのプレゼンを聞くことにより、より現実的にプレゼンを感じる事が出来ました。
- ◆ 色々な方のピッチを聞くことができて大変参考になりました。
- ◆ 自分の足りない部分が何か、相手のピッチを聞くことで分かりました。
- ◆ ロールプレイを通じて、実際にやってみることが重要だと改めて思いました。

各セミナーの講演内容・講師紹介は、Webサイトから
<https://anime-tokyo.com/program/>

